

令和5年度「青森市中世の館及び浪岡城跡案内所」に係るモニタリング評価結果（第2回）

青森市中世の館及び浪岡城跡案内所については、特定非営利活動法人NPO娑婆羅凡人舎が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

指定管理者からのヒアリング内容及び実地調査等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年12月22日

施設名	青森市中世の館及び浪岡城跡案内所
設置目的	青森市中世の館：郷土の歴史・民族資料等に関する資料を収集し、保管し、展示するとともに、地域交流の場として市民の利用に供し、もって市民の文化的向上に資するために設置しています。 浪岡城跡案内所：国指定史跡浪岡城跡及び浪岡地区に関する情報提供等を行うため設置しています。
所在地	青森市中世の館(青森市浪岡大字浪岡字岡田43番地)・浪岡城跡案内所(青森市浪岡大字浪岡字五所14番地1)
指定管理者	【名称】特定非営利活動法人NPO娑婆羅凡人舎 【代表者】代表理事 工藤 修一 【住所】青森市浪岡大字高屋敷字野尻17番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目	実施内容	評価結果		
		適正	要改善	
管理について	職員等が適正な配置となっているか。	管理責任者(館長)1名、管理責任者補佐1名、事務1名、清掃員2名(中世の館：1名、浪岡城跡案内所：1名)が管理運営に従事しており、適正な配置となっている。また、施設管理の経験者を配置しており、継続性をもって適正管理に努めている。	○	
	職員の研修計画が適切であるか。	公立文化施設連絡協議会に参加し、知識と経験を高めたり、歴史や文化に関する理解を深めるため、近隣の町村で開催している歴史講義に受講する等意欲的に取り組んでいる。	○	
	管理保守点検業務が適切に行われているか。	年度当初に再委託の承認を受けた保守点検業務については、順次計画的かつ適切に実施している。	○	
	防犯、防災、緊急時の対応に的確な対応が可能であるか。 事故防止に向けて取り組んでいるか。	危機管理マニュアルを整備し、職員に周知・運用しており、緊急時の対応が十分なされている。 消防(消火、避難、通報)訓練は1回目は11月に実施し、来年3月に2回目を実施予定である。	○	
	個人情報について、職員への周知方法及び具体的な保護策が講じられているか。	個人情報記載された書類は、施錠できる書棚で保管している。廃棄するときはシュレッダーで断裁するなど、個人情報の保護に努めている。	○	
	省エネに努めているのか。	観覧者がいない時は、こまめに展示室の照明を消している。また、使用されていない部屋の照明が消灯されているか定期的に見回しているほか、夜間の屋外灯についても点灯時間を短縮するなど、利用者に影響がない範囲で可能な限り省エネに努めている。	○	
運営について	市民の平等利用が確保されているか。障がい者等への対応は十分に行われているか。	原則、施設使用は先着順としている。但し、毎年同時期に事業を開催している団体については、事前に日程を確認して仮押さえるなど、市民サービスの向上に努めている。 車寄せ付近に車椅子利用者専用の駐車スペースを設けるとともに、車椅子3台を常備するなど、障がい者等への対応に努めている。	○	
	利用者の要望、意見を把握し、運営に反映しているか。 苦情処理の体制は整えられているか。	事業終了後にアンケートを実施し、その結果を施設運営や事業に反映させている。 また、館内に意見箱を設置し、利用者からの意見・苦情等の把握に努めている。寄せられた意見・苦情に対しては、職員会議で情報共有するとともに、対策等について掲示するなど、意見等の反映及び苦情処理の体制を整えている。	○	
	利用者に対するサービス向上は見込まれるか。定期的な自己評価を行っているか。	事業及び貸館終了後に自己評価と職員間の情報共有を密に図り、適宜サービス向上のための検討と実践に努めている。 来館者に有益な情報を提供できるように、知識の習得も積極的にやっている。	○	
	利用促進策は実現可能で効果的なものとなっているか。	市の広報紙への掲載や、チラシ回覧・配布、ポスターの掲示、看板設置等、積極的にイベントの周知・PRを行うなど来館者の増加に努めている。	○	
	芸術文化振興や郷土の歴史教育普及振興に資する必須事業計画がなされているか。市民のニーズや社会の要請を考慮した自主事業を実現しているか。	必須事業については、仕様書のとおり実施している。 自主事業については、浪岡地区の歴史的背景や地域特性を生かした独自の事業の開催に努めており、「サマーコンサート」や「手工芸展」は好評を博している。新たな「ねぶた展示」も	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況については、仕様書どおり行われており適正である。
必須事業については、アフタヌーン・コンサート、一枚の美術館、歴史教室とも適正に実施しており、歴史講座については特に好評を博している。

自主事業については、浪岡舞台演劇公演実行委員会との主催事業である「お休み処めいどイン」を上演し、浪岡地区母親クラブ、浪岡地区児童館及び地区子供会と協力し「ステージ発表と映画鑑賞」等工夫を凝らした事業についても計画している。また、恒例の「やぶこぎ大会」や「雪女コンテスト・津軽伝説」等も趣向を凝らし開催予定であり意欲的に取り組んでいる。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

特記事項なし。

【担当課】 青森市教育委員会事務局 浪岡教育課 社会教育チーム

【電話】 0172-62-3004（直通）

【メール】 n-kyouiku@city.aomori.aomori.jp